

1.	①	11.	②	21.	④	31.	③	41.	③
2.	②	12.	②	22.	④	32.	④	42.	③
3.	③	13.	③	23.	③	33.	④	43.	④
4.	④	14.	③	24.	③	34.	①	44.	②
5.	④	15.	③	25.	①	35.	④	45.	④
6.	①	16.	③	26.	①	36.	②	46.	②
7.	④	17.	①	27.	②	37.	①	47.	③
8.	②	18.	④	28.	③	38.	①	48.	③
9.	④	19.	④	29.	④	39.	①	49.	①
10.	①	20.	③	30.	①	40.	④	50.	①

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の『earn』です。この単語は、労働や仕事の対価として、給料や報酬などを「稼ぐ、得る」という意味で使われる動詞です。働いてお金を手に入れる、という状況に最も適した単語です。他の選択肢も「得る」という意味合いを持つことがありますが、ニュアンスが異なります。②の『win』は、競争や試合、くじなどで「～に勝つ、～を勝ち取る」という意味です。③の『gain』は、努力などによって知識や経験、体重などを徐々に「得る、増す」という意味で使われることが多いです。④の『save』は「～を貯める、節約する」という意味で、「稼ぐ」とは逆の概念ですね。これらの動詞の使い分けができると、表現がより正確になります。

◆補足：『earn』は、お金だけでなく、尊敬 (respect) や評判 (reputation) など、努力によって得られる抽象的なものを目的語に取ることもできます。例文: "She is working part-time to earn money for her trip to Europe." (彼女はヨーロッパ旅行のためのお金を稼ぐために、アルバイトをしています。)

2.

解答 ②

【解説】

正解は②の「礼儀正しい」です。『polite』は、社会的なマナーをわきまえており、他者に対して敬意を払った、丁寧な言動をする様子を表す形容詞です。日本語の「礼儀正しい」「丁寧な」「上品な」といった言葉に相当します。人々の集まる場所で、他者を不快にさせないための基本的な態度と言えます。他の選択肢は、それぞれ異なる性質を表す形容詞です。①の「人気がある」は 'popular'。③の「強力な」は 'powerful'。④の「完璧な」は 'perfect' となります。これらの単語も、人や物を評価する際に使われる基本的な語彙です。

◆補足：『polite』の対義語、つまり「無礼な、失礼な」は、否定の接頭辞 'im-' を付けた

『impolite』です。この対義語もセットで覚えておくと非常に効果的です。名詞形は 'politeness' (礼儀正しさ) です。例文: "It's polite to say 'thank you' when you receive a gift." (贈り物をもらったら「ありがとう」と言うのが礼儀です。)

3.

解答 ③

【解説】

正解は③の「現金」です。『credit』は、非常に多くの意味を持つ重要な名詞ですが、この問題ではそれが持たない意味を選ぶ必要があります。①の「信用、信頼」は、この単語の中心的な意味の一つです。「クレジットカード」(credit card) は、個人の「信用」に基づいて後払いを許可するカードですね。②の「評判、功績」も重要な意味です。例えば、"He got all the credit for the team's success." (彼はチームの成功の功績をすべて独り占めした) のように使います。④の「(大学の) 単位」も、学業の達成度を示す単位として使われます。③の「現金」は 'cash' という全く別の単語で表されます。

『credit』が「後払いや借金」を意味することはあっても、「現金」そのものを意味することはありません。

◆補足：映画やテレビ番組の終わりに流れる制作者一覧も「クレジット」(credits) と呼びますね。これは、その作品に対する「功績」を称える、という意味から来ています。このように、多義語は一つの意味だけでなく、様々な文脈で使われることを知っておくのが大切です。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④の「心配する」です。『worry』は、「(未来のことや解決できない問題について) 心配する、悩む」という意味の動詞です。まだ起きていない悪いことを想像して、心が落ち着かなくなるような状態を表します。日本語の「心配する」とほぼ同じ感覚で使うことができます。他の選択肢は、それぞれ異なる感情や状態を表す動詞です。①の「急ぐ」は 'hurry'、②の「退屈する」は 'get bored'、③の「興味を持つ」は 'be interested' や 'have an interest' などによって表現されます。これらの基本的な感情表現は、日常会話で頻繁に使われるので、正確に覚えておきましょう。

◆補足：『worry』は自動詞として "worry about ~" (~について心配する) の形で使われることが非常に多いです。例文: "Don't worry about it. Everything will be fine." (そのことは心配しないで。すべてうまくいきますよ。) また、人を「心配させる」という他動詞の用法もあります。例文: "His strange behavior worried his parents." (彼の奇妙な行動は両親を心配させた。)

5.

解答 ④

【解説】

正解は④の「提案・勧誘をする」です。この表現は、前の問題の "Why don't you ~?" と同様に、「～はどうですか？」と相手に何かを提案したり、意見を求めたり、誘ったりする時に使う、非常に便利なフレーズです。"How about" の後ろには、名詞や動詞の ing 形が続きます。例えば、"How about a cup of coffee?" (コーヒーはいかがですか?) や "How about going to the movies?" (映画に行くのはどうですか?) のように使います。①「方法を探ねる」場合は "How do you ~?"、②「状態を探ねる」場合は "How are you?"、③「感想を探ねる」場合は "How was ~?" など、異なる表現が使われます。

◆補足：What about ~? も "How about ~?" とほぼ同じ意味で、提案の際に入れ替えて使うことができます。例文: "I'm free on Saturday. How about you?" (私は土曜日が暇です。あなたはどうですか?) のように、相手の都合を探ねる時にも使えます。非常に応用範囲の広いフレーズなので、ぜひ使いこなせるようになってください。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①の「さもないければ、そうしないと」です。『otherwise』は、前の文で述べた事柄が行われない場合に、どのような（通常は良くない）結果になるかを示す際に使われる、非常に重要な接続副詞です。「もしそうしなかったら、…という結果になるだろう」という、条件とその結果を繋ぐ役割を果たします。命令文や助言の後に続けて使われることが非常に多いです。他の選択肢も重要な接続副詞です。②「言い換えれば」は 'in other words'。③「その上」は 'besides' や 'moreover'。④「それにもかかわらず」は 'however' や 'nevertheless' があたります。文と文の関係性を正しく理解するために、これらの接続詞・副詞の機能は必ずマスターしておきましょう。

◆補足：使い方としては、「(A しなさい。) Otherwise, (B という悪いことが起きる。)」というパターンが基本です。例文: "You should hurry. Otherwise, you'll miss the train." (急いだ方がいいよ。さもないと、電車に乗り遅れるよ。) この文は "If you don't hurry, you'll miss the train." とほぼ同じ意味になります。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の「故障して」です。この表現は、機械や設備が「故障している、正常に作動しない」という「状態」を表す際に使われます。前の問題の 'break down' が「故障する」という「動作」を表すのに対し、『out of order』は故障した結果の「状態」を表す、と区別すると分かりやすいです。エレベーターやコピー機、自動販売機などに "Out of order" という貼り紙がしてあるのをよく見かけます。これは「故障中」という意味ですね。他の選択肢を見てみましょう。①「注文と違う」は 'different from

my order'、②「順番が狂って」は 'out of sequence'、③「準備不足で」は 'unprepared' など表現され、意味が異なります。

◆補足：この表現は、機械だけでなく、比喩的に「(計画などが) めちゃくちゃで」や、行儀が悪いという意味で「不適切で」といった使われ方をすることもあります。まずは「機械が故障している」という基本的な意味をしっかりマスターしましょう。例文: "I'm sorry, but this elevator is out of order. Please use the one over there." (申し訳ありませんが、このエレベーターは故障中です。あちらのエレベーターをご利用ください。)

8.

解答 ②

【解説】

正解は②の「提案・勧誘をする」です。この表現は、形の上では「なぜあなたは～しないのですか?」という疑問文ですが、実際の会話では相手を非難したり理由を問いただしたりするのではなく、「～したらどうですか?」と何かを優しく提案したり、「～しませんか?」と誘ったりする時に使われます。英語のコミュニケーションにおいて非常に重要で、頻繁に使われる表現の一つです。①の「理由を尋ねる」ために使うことも稀にありますが、その場合は強い非難のニュアンスを含むことが多く、一般的な用法ではありません。③「過去を後悔する」や④「能力を疑う」という意味合いは、この表現には通常ありません。

◆補足：この表現は、相手を気遣う優しい提案の仕方として、日常会話で広く使われます。答えとしては "That's a good idea." (それは良い考えだね) のように肯定的に返したり、"No, thank you." (いいえ、結構です) のように断ったりします。例文: "You look tired. Why don't you take a break?" (疲れているように見えますね。休憩したらどうですか?)

9.

解答 ④

【解説】

正解は④の『pour』です。この動詞は、容器を傾けるなどして、中にある液体や、砂・砂糖などの細かい粒状のものを「注ぐ、流し込む」という行為を表します。カップにお茶を注ぐ、グラスにジュースを注ぐ、といった日常的な場面で頻繁に使われます。他の選択肢は、液体に関連する別の動作を表します。①の『drink』は「～を飲む」。②の『spill』は、意図せずに誤って液体などを「～をこぼす」こと。③の『mix』は「～を混ぜる」という意味です。これらの動詞は、料理の場面などでよく使われるので、それぞれの動作を正確にイメージして区別できるようにしておきましょう。

◆補足：雨が激しく降ることを「土砂降り」と言いますが、英語では "It's pouring." と表現することがあります。これは、バケツをひっくり返したように雨が「注がれている」というイメージから来ています。例文: "Could you pour me another glass of water?" (お水をもう一杯注いでいただけますか?)

10.

解答 ①

【解説】

正解は①の「犯罪」です。『crime』は、法律に違反する行為、つまり「犯罪」や「罪」を指す最も一般的な単語です。窃盗、詐欺、殺人など、法律によって罰せられる様々な行為が含まれます。社会問題に関するニュースや議論で頻繁に登場する重要な単語です。他の選択肢は、法律や社会秩序に関連する言葉ですが、意味が異なります。②の「罰」は 'punishment'。③の「規則」は 'rule' や 'regulation'。④の「論争」は 'argument' や 'debate' となります。これらの単語の違いを明確に理解しておくことが大切です。

◆補足：「犯罪を犯す」は "commit a crime" という決まった言い方をします。この 'commit' という動詞との組み合わせ（コロケーション）は非常に重要なので、必ずセットで覚えましょう。また、犯罪を犯した人は 'criminal' (犯人)、犯罪率（発生率）は 'crime rate' と言います。これらの関連語も一緒に覚えておくと、語彙力がさらに豊かになります。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②の『doubt』です。この単語は、何かについて「～は本当ではないのではないか、真実ではないかもしれない」と確信が持てない気持ち、つまり「～を疑う」という意味を表す動詞です。誰かの話を聞いて、その内容に疑問を感じるような状況で使われます。他の選択肢は、似ているようで意味が異なる重要な単語です。①の『trust』は、人や組織の誠実さや能力などを「信用する、信頼する」という意味です。④の『believe』は、話の内容や考えが「真実だと信じる」という意味で、『doubt』の直接的な対義語と言えます。③の『guess』は、確かな根拠がないまま「～だと推測する」という意味で、「たぶんだろう」と考えることであり、「本当ではないかも」と考える『doubt』とは異なります。これらの心の動きを表す動詞の違いを理解することは、感情や意見を正確に表現するためにとても大切です。

◆補足：『doubt』は名詞として「疑い」という意味でも使われます。その際、"There is no doubt that ..." の形で「…であることは疑いようがない、間違いなく…だ」という非常に強い確信を表す構文は、英作文などでも役立つのでぜひ覚えておきましょう。動詞として使う場合、"I doubt that he will come on time." は「彼が時間通りに来るとは思えない（＝来ないだろう）」というように、否定的な予測を表すことが多いです。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の「役に立つ、親切な」です。『helpful』は、動詞の "help" (助ける) に、"full" (～で満ちている) という接尾辞が付いてできた形容詞です。その成り立ちからも分かるように、「助けて満ちている」つまり「助けになる、役に立つ」というのがこの単語の中心的な意味です。人に対して使えば「親切な、世話好きな」、物や情報に対して使えば「有益な、役に立つ」という意味になります。他の選択肢は、それぞれ異なる人の性格や状態を表します。①「孤独な」は 'lonely'、③「おしゃべりな」は 'talkative'、④「忙しい」は 'busy' となります。これらの基本的な形容詞も、必ず覚えておきましょう。

◆補足：『helpful』は、誰かの助けに感謝を伝えたい時に非常に便利な単語です。例文: "Thank you for your helpful advice. It really helped me a lot." (役に立つアドバイスをありがとうございます。本当にとっても助かりました。) また、"The hotel staff were all very friendly and helpful." (そのホテルのスタッフは皆とてもフレンドリーで親切だった。) のように、サービスを評価する際にもよく使われます。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③の「～までずっと」です。『till』は、ある時点まで行為や状態が継続することを表す接続詞、または前置詞です。『until』とほぼ同じ意味で、日常会話では『till』の方がより口語的に使われる傾向があります。「A till B」で「B の時点になるまで、A という状態が続く」という時間の継続を表します。他の選択肢は、それぞれ異なる機能を持つ接続詞が対応します。①「～だけれども」は 'although' や 'though'。②「～なので」は 'because' や 'so'。④「もし～なら」は 'if' となります。文と文の関係を正しくつなぐ接続詞は、長文読解や英作文の要となるので、それぞれの役割を正確に理解しておくことが大切です。

◆補足：『till』と『until』はほとんどの場面で交換可能ですが、文の始めに置く場合は、よりフォーマルな響きのある『until』が好まれる傾向があります。(例: "Until he arrived, we couldn't start the meeting.") 例文: "Let's wait till the rain stops." (雨がやむまで待ちましょう。)

14.

解答 ③

【解説】

正解は③の「太陽の光」です。『sunlight』は、"sun" (太陽) と "light" (光) という二つのとても基本的な単語が合わさってできた言葉です。単語の成り立ちからも分かるように、その名の通り「日光、太陽の光線」を意味します。植物が光合成をするために不可欠なものです。他の選択肢も、様々な種類の光を表す言葉です。①の「月の光」は "moonlight" と言います。これも "moon" (月) と "light" (光) の組み合わせですね。②の「星の光」は "starlight" となります。④の「街の明かり」は、特定の単語一つで表すのは難しいですが、"city lights" のように表現するのが一般的です。このように、何から発せられる光なのかによって、使う単語が異なるのが面白いですね。

◆補足：日光浴をすることは "bask in the sunlight" や "sunbathe" と言います。例文: "Plants need sunlight and water to grow." (植物が育つためには、日光と水が必要です。) このように、理科のトピックや自然に関する文章などでよく出てくる基本的な単語です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の『lend』です。この単語は、「(無料で何かを一時的に) 貸す」という意味の動詞です。前の問題の『borrow』とは逆で、主語が「貸す側」の人間になります。「私が貸す」は "I lend" となります。友人にお金を貸したり、誰かに自分の物を貸してあげたりする時に使います。他の選択肢は、お金に関する重要な動詞です。①の『receive』は「～を受け取る」、②の『spend』は「(お金や時間を) ～を費やす、使う」、④の『save』は「～を貯める、節約する」という意味です。これらの単語は、お金の文脈でよく使われるので、セットで覚えておくと便利です。

◆補足：『borrow』が「借りる」のに対し、『lend』は「貸す」です。"I borrow money from you." (私はあなたからお金を借りる) と "You lend money to me." (あなたは私にお金を貸す) のように、主語が誰なのかによって使い分ける必要があります。『lend A B』または『lend B to A』で「A に B を貸す」という形も重要です。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③の『receipt』です。この単語は、商品やサービスの代金を支払ったことの証明として店から渡される「レシート、領収書」を意味します。日本語の「レシート」の元になった単語ですね。この単語で最も注意すべき点は、発音です。スペルの中に 'p' がありますが、この 'p' は発音しない黙字です。そのため、「リシート」のように発音します。他の選択肢は、スペルが似ていて間違いやすい単語です。①の『recipe』は、料理の「調理法、レシピ」のことです。②の『repeat』は「～を繰り返す」という動詞。④の『report』は「報告、レポート」です。どれも基本的な単語なので、スペルと意味を正確に覚えておきましょう。

◆補足：『receipt』は、お金の支払いだけでなく、何かを受け取ったことの証明書全般を指すこともあります。複数形で "Please keep all your receipts for your business trip." (出張のために、領収書はすべて保管しておいてください。) のように使われることも多いです。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の「～を除いて」です。前置詞または接続詞として使われる『except』は、ある集団や全体の中から、特定のものを「除外する」ときに使われます。「～以外は」と訳すと分かりやすいかもしれませんが、例えば、"Everyone passed the exam except me." (私を除いて、全員が試験に合格した。)のように、全体 (Everyone) から一部 (me) を取り除く働きをします。他の選択肢は、それぞれ異なる関係性を示す重要な前置詞や接続詞句です。②「～に加えて」は 'in addition to' や 'besides'。③「～にもかかわらず」は 'in spite of' や 'despite'。④「～の代わりに」は 'instead of' となります。文の論理構造を把握するために、これらの表現は正確に使い分けられるようにしておきましょう。

◆補足：except for ～ という形もよく使われます。'except' と 'except for' は多くの場合交換可能ですが、文頭では 'except for' が使われる、'all, every, any, no' などの語の後には 'except' が好まれる、といった細かい使い分けがあります。まずは「～を除いて」という中心的な意味をしっかりマスターすることが大切です。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の「～を見下す」です。この熟語は、文字通り「下を向いて見る」という物理的な動作から転じて、比喩的に「(人や考えなどを) 見下す、軽蔑する」という意味で使われます。自分の方が相手よりも優れていると考え、相手を価値の低いものとして扱う、というネガティブな態度を示します。②の「見下ろす」は、高い場所から低い場所を物理的に見ることであり、軽蔑のニュアンスは必ずしも含まれません。他の選択肢は全く異なる意味です。①「～を調べる」は 'look into' や 'check'。③「～を尊敬する」は、次の問題に出てくる 'look up to' で、この熟語の正反対の意味になります。

◆補足：このように、物理的な視線の動きが、比喩的な意味を持つようになる熟語は英語にはたくさんあります。'down' が下に見るネガティブなイメージ、'up' が上に見るポジティブなイメージを持つことが多い、と覚えておくと、他の熟語の意味を推測する際にも役立ちます。例文: "You shouldn't look down on people just because they have different opinions." (意見が違うというだけで人を見下すべきではない。)

19.

解答 ④

【解説】

正解は④の「多分、おそらく」です。『probably』は、ある事柄が起こる可能性が非常に高いけれど、100 パーセント確実ではない、という状況で使われる副詞です。日本語の「十中八九～だろう」という感覚に近いかもしれません。天気予報や未来の予定など、少しだけ不確実性が残る事柄について話すときによく使われます。①の「いつも」は 'always'、②の「絶対に」は 'definitely' や 'absolutely'、③の「めったに～ない」は 'seldom' や 'rarely' という単語がそれぞれ対応します。これらの頻度や確実性を表す副詞は、意味の強さの順に並べて覚えると、ニュアンスの違いが理解しやすくなります。

◆補足：『probably』と似た意味の単語に "maybe" や "perhaps" がありますが、これらは可能性が「五分五分」程度の時に使われるのに対し、『probably』はそれよりもずっと可能性が高い（80～90%程度）というニュアンスがあります。この違いを理解しておくと、より正確に意図を伝えることができます。例文: "It will probably rain this afternoon." (今日の午後は、おそらく雨が降るでしょう。)

20.

解答 ③

【解説】

正解は③の「才能、能力」です。『grade』は、学校や品質評価の文脈で非常によく使われる単語です。この問題では、それが持たない意味を選ぶ必要があります。①の「学年」は、"the first grade" (小学1年生) のように使われる、最も基本的な意味の一つです。②の「等級、品質」も、"Grade A eggs" (A級品の卵) のように、製品のランクを示す際に使われます。④の「成績、評点」も、テストの結果を表す際に "I got a good grade in math." (私は数学で良い成績をとった) のように頻繁に使われます。一方、③の「才能、能力」は、'talent' や 'ability' といった単語で表され、『grade』が直接的にこの意味を持つことはありません。

◆補足：『grade』は動詞として「～を採点する、等級分けする」という意味も持ちます。例文: "My sister is in the fifth grade of elementary school." (私の妹は小学校の5年生です。) "The teacher is grading our exams now." (先生は今、私たちの試験を採点しています。)

21.

解答 ④

【解説】

正解は④の「(建物から) 静かに出ていく」です。『come out』は、「中から外へ出てくる」という中心的なイメージを持つ、非常に多くの意味を持つ熟語です。この問題では、この熟語が持たない意味を選ぶことに注意してください。①「(新製品や本が) 発売される、世に出る」、②「(太陽や月が雲間から) 現れる」、③「(隠されていた秘密や事実が) 明らかになる、ばれる」は、すべて『come out』の重要な意味です。いずれも「内側にあったものが見える状態になる」という共通のイメージで捉えることができます。④の「静かに出ていく」という特定の動作や様態は『come out』には含まれません。「外へ出る」という意味はありますが、「静かに」というニュアンスは別の単語 (e.g., quietly) を補う必要があります。

◆補足：多義語の熟語は覚えるのが大変ですが、中心的なイメージを掴むと応用が効きます。他にも「(結果が) 出る」(The test results will come out next week.) や、「(汚れが) 落ちる」(This stain won't come out.) といった意味もあります。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の「～に反対して、～を相手に」です。前置詞の『against』は、「対立」や「抵抗」を中核的なイメージとして持っています。そこから様々な意味に発展しますが、最もよく使われるのが、意見や計画などに「～に反対して、～に逆らって」という意味です。また、スポーツの試合などで「～を相手にして、～と対戦して」という意味でも頻繁に使われます。例えば、"Japan played against Brazil." (日本はブラジルと対戦した) のように使います。他の選択肢は、それぞれ全く異なる意味を持つ前置詞や表現が対応します。①「～に賛成して」は 'for'。②「～なしで」は 'without'。③「～の代わりに」は 'instead of' となります。

◆補足：『against』には、物理的に「～に寄りかかって、～にもたれて」という意味もあります。例えば、"He was leaning against the wall." (彼は壁に寄りかかっていた) のように使います。これも、壁と彼が「対抗」して支え合っている、と考えるとイメージしやすいかもしれません。このように、前置詞は中心的なイメージを掴むと、多様な意味を理解しやすくなります。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③の『mind』です。この動詞は、「～を気にする、嫌がる、不快に思う」という意味で、主に否定文や疑問文で使われることが多いです。何かが自分の迷惑になったり、不快感を与えたりすることを表します。図書館でのおしゃべりのように、マナーに反する行為や騒音などを「快く思わない」という状況にぴったりの単語です。他の選択肢も重要な動詞です。①の『forgive』は「(過ちなどを) ～を許す」。②の『ignore』は「～を無視する」。④の『allow』は「～を許可する」という意味で、『mind』とは逆のニュアンスを持つことが多いです。

◆補足：前の問題の "Do you mind if I...?" は、この動詞 'mind' の使い方に基づいた表現です。また、"I don't mind the noise." (私はその騒音は気になりません。) のように否定文で使ったり、"Would you mind closing the window?" (窓を閉めていただけますでしょうか?) のように、人に丁寧に何かをお願いする依頼の文でも使われます。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③の「ごみ」です。『garbage』は、主に家庭から出る生ごみや不用品などの「ごみ」を指す、非常に一般的な単語です。特にアメリカ英語でよく使われる傾向があります。イギリス英語では、同じ意味で 'rubbish' という単語が使われることが多いです。他の選択肢は、家に関連する別の場所を指します。①の「庭」は 'garden' や 'yard'、②の「ガレージ」は 'garage' (発音が似ているので注意!)、④の「地下室」は 'basement' となります。これらの単語は、住居に関する説明や物語などでよく登場するので、しっかり区別して覚えましょう。

◆補足：ごみを捨てることは "throw away the garbage"、ごみ収集車は "garbage truck"、ごみ箱は "garbage can" と言います。このように、関連する表現とセットで覚えると、記憶に定着しやすくなります。例文: "Please take out the garbage on Tuesday morning." (火曜日の朝にごみを出してください。)

25.

解答 ①

【解説】

正解は①の「薄い、細い」です。『thin』は、前の問題で出てきた 'thick' (厚い、太い) の対義語で、物の厚みがないことや、棒状のものが細いことを表す基本的な形容詞です。薄い紙は "thin paper"、細い腕は "thin arms" と表現します。また、液体などが「薄い、水っぽい」状態や、人が「痩せている」ことを表す際にも使われます。他の選択肢は、それぞれ異なる性質を表す形容詞です。②の「軽い」は 'light'、③の「柔らかい」は 'soft'、④の「明るい」は 'bright' や 'light' となります。このように、対義語を意識しながら覚えることで、語彙のネットワークが効率的に広がっていきます。

◆補足：人が「痩せている」という意味で『thin』を使う場合、'slim' や 'slender' が持つ「すらりとして魅力的な」というポジティブなニュアンスとは異なり、時として「痩せすぎている、不健康に痩せている」というネガティブな響きを持つことがあるので、使い方には少し注意が必要です。例文: "He sliced the ham into thin pieces." (彼はハムを薄い小片にスライスした。)

26.

解答 ①

【解説】

正解は①の「間違った」です。wrong は、「正しい」を意味する right の対義語として、事実や基準、道徳などにおいて「正しくない」状態を表す、非常に基本的な形容詞です。「間違った答え」(the wrong answer)や「間違った道」(the wrong way)のように、正誤が明確な事柄に対して広く使われます。②「弱い」は weak、③「難しい」は difficult、④「退屈な」は boring が対応します。

◆補足：wrong は「間違った」という基本的な意味の他に、以下のような重要な使い方があります。不調を表す場合: "Something is wrong with my computer." (私のコンピューターはどこか調子が悪い。) 不正を表す場合: "It is wrong to steal." (盗むことは不正だ。) 相手を気遣う場合: What's wrong? は、相手の様子が普段と違う時に「どうしたの?」と心配して尋ねる決まり文句です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②の『share』です。この単語は、「～を共有する、分け合う、一緒に使う」という意味を持つ動詞です。一つのを複数の人で分け合って使ったり、楽しんだり、負担したりする、という協調的なニュアンスがあります。ピザや部屋、情報、意見など、様々なものを目的語に取ることができます。問題の状況のように、食べ物を仲良く分け合う場面にぴったりの単語です。他の選択肢も「分ける」に関連する動詞ですが、ニュアンスが異なります。①の『divide』は、全体をいくつかの部分に「分割する、割る」という、より機械的・数学的な意味合いが強いです。③の『separate』は、くっついているものを「引き離す、分離する」という意味。④の『give』は、一方的に「与える、あげる」という意味です。

◆補足：『share A with B』の形で「A を B と分け合う」という使い方は非常に重要です。例文: "He shared his umbrella with me." (彼は私に傘を貸してくれた。/相合い傘をしてくれた。) このように、親切な行為を表す際にもよく使われます。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③の「国籍」です。『nationality』は、ある人がどの国の国民であるか、つまり、その人の「国籍」を示す名詞です。入国審査の書類や公的な書類などで、記入を求められることが多い単語です。他の選択肢も、国に関連する重要な単語ですが、意味が異なります。①の「国民性」は 'national character'。②の「国家」は 'nation' や 'state'。④の「国際化」は 'internationalization' となります。これらの単語は、'nation' (国) という共通の語源から派生していますが、それぞれが指す概念は異なるため、正確に区別して覚えることが重要です。

◆補足：'nation' (国、国民) → 'national' (国の、国民の) → 'nationality' (国籍) という派生の流れを理解すると、単語の関係性が分かり、記憶に残りやすくなります。例文: "What is your nationality?" (あなたの国籍はどこですか?) という質問に対しては、"I'm Japanese." (私は日本人です。) と答えるのが一般的です。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の「運、幸運」です。『luck』は、人の力ではどうすることもできない偶然の力、つまり「運」や「運勢」を指す名詞です。良い運の場合は「幸運」、悪い運の場合は「不運」(bad luck) となります。日本語でも「ラッキー」と言うことがあります。これは形容詞の 'lucky' (運が良い) から来ていますね。他の選択肢は、スペルが似ていたり、全く異なる意味を持つ単語です。①の「錠、鍵をかける」は 'lock'。②の「外見、見る」は 'look'。③の「塊」は 'lump' や 'block' です。これらの単語との混同に注意しましょう。『luck』は数えられない名詞 (不可算名詞) として扱われるのが基本です。

◆補足：試験や試合に臨む友人に対して "Good luck!" (幸運を祈るよ！頑張って！) と声をかけるのは、最も一般的な励ましの表現です。また、"best of luck" という言い方もあります。例文: "He has had a lot of bad luck this year." (彼は今年、不運なことがたくさんあった。)

30.

解答 ①

【解説】

正解は①の『escape』です。この単語は、危険な場所や、捕らえられている状況、不快な状況などから「逃げる、脱出する」という意味の動詞です。単にその場を離れるだけでなく、困難や危険を乗り越えて自由になる、というニュアンスが含まれています。燃えている建物という、まさに生命の危険がある場所から逃げ出すこの問題の状況に最も適しています。他の選択肢は、それぞれ全く異なる行動を指します。②の『enter』は「～に入る」。④の『return』は「～に戻る」。これらは「逃げる」とは逆の行動ですね。③の『hide』は「隠れる」という意味で、危険から逃れるための一つの方法ではありますが、「逃げ出す」という移動を伴う行為そのものを指すわけではありません。

◆補足：『escape from ～』の形で「～から逃げる」と使われることが多いです。また、名詞としても「逃亡、脱出」という意味で使われます。例文: "The prisoner tried to escape from the jail, but he failed." (その囚人は刑務所から脱出しようとしたが、失敗した。)"Reading books is a form of escape from reality for me." (私にとって、本を読むことは現実からの逃避の一つの形だ。)

31.

解答 ③

【解説】

正解は③の「外国の」です。『foreign』は、「外国の、よその国の」という意味を持つ基本的な形容詞です。自分の国以外の国に関連する人、物、文化、言語など、幅広い事柄を修飾します。例えば、"a foreign country" (外国)、"a foreign language" (外国語)、"foreign tourists" (外国人観光客) のように使います。他の選択肢は、それぞれ異なる関係性を表します。①の「地元の」は 'local'。②の「馴染みのある」は 'familiar'。④の「国内の」は 'domestic' です。特に、④の 'domestic' は、『foreign』の明確な対義語なので、必ずセットで覚えておきましょう。国際線は "international flights"、国内線は "domestic flights" と言いますね。

◆補足：『foreign』から派生した名詞『foreigner』は「外国人」を意味しますが、近年では、その人が話している言語や文化を基準にするのではなく、単に出身国が違うだけの人を指すため、やや区別的な響きを持つことがあるとされ、代わりに "people from other countries" などの表現が好まれることもあります。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の「(まだ) ~ない、(もう) ~か」です。副詞の『yet』は、使われる文の種類によって意味合いが変わる、少し注意が必要な単語です。否定文の文末で使われる場合は、「(現時点では) まだ~していない」という意味を表します。例えば、"I haven't finished my homework yet." (私はまだ宿題を終えていません。) のように使います。一方、疑問文の文末で使われる場合は、「(現時点までに) もう~しましたか?」と、行為が完了したかどうかを尋ねる意味になります。例えば、"Have you eaten lunch yet?" (もうお昼ご飯は食べましたか?) となります。①「すでに」は肯定文で使う 'already'、②「ちょうど」は 'just'、③「決して~ない」は 'never' がそれぞれ対応します。

◆補足：『yet』は、接続詞として「しかし、それにもかかわらず」という意味で使われることもあります。これは少しレベルが高い用法ですが、文頭で "Yet, he refused the offer." (しかし、彼はその申し出を断った。) のように使われることがあることを知っておくと、読解の際に役立ちます。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の「床、階」です。『floor』には、主に二つの重要な意味があります。一つは、私たちが立ったり歩いたりする部屋の「床」です。もう一つは、ビルなどの建物の「階」です。例えば、"the first floor" は「1 階」(イギリス英語では「2 階」)、"the second floor" は「2 階」を指します。このように、同じ単語が全く異なるものを指すことがあるので、文脈からどちらの意味で使われているかを判断することが大切です。①「天井」は 'ceiling'、②「壁」は 'wall'、③「庭」は 'garden' です。家や建物に関するこれらの基本的な単語は、日常生活を描写する上で欠かせません。

◆補足：「階」として使う場合は、"My office is on the fifth floor." (私のオフィスは 5 階にあります。) のように、前置詞に 'on' を使うのが一般的です。「床」としては "Please don't put your bag on the floor." (床にカバンを置かないでください。) のように使います。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①の「~の代わりに」です。『instead』は、ある選択肢を取らずに、別の選択肢を取ることを示す際に使われる副詞です。「A ではなく、その代わりに B」という、代替案を示す文脈で使われます。文末に置かれたり、文頭でコンマを伴って使われたりします。また、"instead of ~" の形で「~の代わりに」という前置詞句として使われることも非常に多いです。他の選択肢は、それぞれ異なる関係性を示します。②「~に加えて」は 'in addition to'、③「~にもかかわらず」は 'in spite of' や 'despite'、④「~の前に」は 'in front of' や 'before' が使われます。これらの前置詞や副詞句は、文の構造を複雑にする要素ですが、一つ一つ正確に覚えていくことが大切です。

◆補足：instead of ～ の使い方は特に重要です。例文: "I'll have tea instead of coffee today." (今日はコーヒーの代わりに紅茶をいただきます。) 副詞として単独で使う場合は、"We didn't go to the park. Instead, we went to the museum." (私たちは公園には行かなかった。その代わりに、博物館に行った。) のようになります。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の『brush』です。この単語は、ブラシやハケのような道具を使って「～を磨く、～にブラシをかける」という意味の動詞です。「歯を磨く」は "brush one's teeth"、「髪をとかす」は "brush one's hair" というように、決まった言い方で使われることが非常に多いです。これらは毎日の習慣を表す基本的な表現なので、必ず覚えておきましょう。他の選択肢は、口に関する別の動作や、「磨く」の類義語ですが、文脈に合いません。①の『chew』は「～を噛む」。②の『wash』は「～を洗う」で、"wash one's face" (顔を洗う) のように使います。③の『polish』は、靴や金属、家具などを磨いて「～につやを出す」という意味です。歯を「磨く」のとはニュアンスが異なります。

◆補足：『brush』は名詞として、道具の「ブラシ、ハケ」そのものを指します。「歯ブラシ」は 'toothbrush'、「ヘアブラシ」は 'hairbrush' となります。このように、動詞と名詞の両方の使い方を覚えておくと、語彙力がぐっと深まります。例文: "Don't forget to brush your teeth before you go to bed." (寝る前に歯を磨くのを忘れないでね。)

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の「…でさえあれば、…である限り」です。この表現は、「…という条件が満たされている間は」という条件を示す接続詞句として使われます。「～という条件で」という意味の 'if' や 'on condition that' と似たような働きをします。例えば、"You can use my computer as long as you are careful." (注意してさえくれれば、私のコンピューターを使ってもいいですよ。) のように、許可を与える際の条件として使われることがよくあります。他の選択肢は、それぞれ異なる意味の接続詞が対応します。①「…である間に」は 'while'。③「…にもかかわらず」は 'although' や 'even though'。④「…なので」は 'because' や 'since' です。

◆補足：so long as も "as long as" と全く同じ意味で使うことができます。『as long as』には、文字通り「(長さや時間が) ～と同じくらい長く」という意味もありますが、接続詞として「～である限り」という意味で使われる方が、英検では重要度が高いです。例文: "I don't mind what you do, as long as you are happy." (君が幸せでさえあれば、君が何をしても気にしないよ。)

37.

解答 ①

【解説】

正解は①の「便利、好都合」です。『convenience』は、形容詞の 'convenient' (便利な) の名詞形で、「便利なこと」や「都合が良いこと」という状態や性質そのものを指す抽象名詞です。日本語でも「コンビニエンスストア」でお馴染みですが、これは "convenience store" (便利な店) から来ていますね。この身近な例を思い浮かべると、意味を覚えやすいかもしれません。他の選択肢も重要な抽象名詞です。②の「快適さ」は 'comfort'、③の「正確さ」は 'accuracy'、④の「重要性」は 'importance' となります。似たようなカテゴリーの言葉ですが、それぞれの意味は明確に異なります。これらの単語を正確に使い分けることが、よりの確な英語表現につながります。

◆補足：convenience' の対義語は、否定の接頭辞 'in-' を付けた 'inconvenience' (不便、迷惑) です。これも非常に重要な単語なので、セットで覚えましょう。また、"at your convenience" という形で「ご都合のよい時に」という意味の丁寧な表現として、ビジネスメールなどでよく使われます。例文: "Online shopping is a great convenience for busy people." (オンラインショッピングは忙しい人々にとって大変便利なものです。)

38.

解答 ①

【解説】

正解は①の「約束を守る」です。この表現は、「した約束を実行する、違えない」という意味の決まり文句です。『keep』には「保つ」という意味があるので、「約束を保ち続ける」というイメージで捉えると分かりやすいですね。'promise' の代わりに 'word' を使って "keep one's word" と言うこともでき、こちらも全く同じ意味で使われます。他の選択肢も「約束」に関連する行為ですが、意味が異なります。②「約束を覚えている」は 'remember one's promise'、③「約束を書き留める」は 'write down one's promise'、④「約束をする」は 'make a promise' となります。特に 'make a promise' (約束をする) と 'keep a promise' (約束を守る) の動詞の違いは、セットで覚えておくべき重要なポイントです。

◆補足：対義語、つまり「約束を破る」は 'break one's promise' と言います。この 'keep' と 'break' の対比も、一緒に覚えておくと非常に効果的です。例文: "He is a man of his word. He always keeps his promises." (彼は信頼できる人だ。いつも約束を守る。)

39.

解答 ①

【解説】

正解は①の『borrow』です。この単語は、「(無料で何かを一時的に) 借りる」という意味の動詞です。重要なポイントは、主語が「借りる側」の人間になるということです。「私が借りる」は "I borrow" となります。図書館から本を借りる、友人からペンを借りる、といった日常的な場面で頻繁

に使われます。他の選択肢も確認しましょう。②の『return』は、借りたものを「～を返す」という逆の行為を表します。③の『search』は「～を探す」という意味です。④の『sell』は「～を売る」という意味で、これも文脈に合いません。それぞれの動詞が表す行為を正確に理解しましょう。

◆補足：『borrow』と間違えやすいのが、次の問題に出てくる『lend』です。『borrow A from B』で「B から A を借りる」という形を覚えておきましょう。例文: "Can I borrow your umbrella? I left mine at home." (あなたの傘を借りてもいいですか？ 私の傘は家に忘れてきてしまってます。)

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の『bark』です。この単語は、犬が「ワンワン」と「ほえる」という、特有の鳴き声を表す動詞です。猫が 'meow' (ニャーと鳴く) と言うように、動物の種類によって鳴き声を表す動詞が異なることが多いので、これはその代表例として覚えておきましょう。他の選択肢は、それぞれ異なる種類の「声を出す」行為を表します。①の『sing』は、人間や鳥が「歌う」こと。②の『cry』は、人間が「泣く」という意味が最も一般的ですが、鳥などの動物が甲高い声で「鳴く」という意味で使われることもあります。しかし、犬のほえ声には通常使いません。③の『speak』は、人間が言語を「話す」という意味です。これらの基本的な動詞との違いを明確に理解しておくことが重要です。

◆補足：『bark』は名詞として「ほえ声」という意味でも使うことができます。また、ことわざ "His bark is worse than his bite." (彼のほえ声は、彼が噛みつくほど悪くはない) は、「彼は口やかましいだけで、実際は怖くない (根は優しい人だ)」という意味で使われることがあります。例文: "My neighbor's dog always barks when someone passes by the house." (私の隣人の犬は、誰かが家の前を通るといつもほえる。)

41.

解答 ③

【解説】

正解は③の「～を整理整頓する」です。この熟語は、物事を正しい順序やあるべき状態に「整える、整理する」という意味で使われます。単に物を片付けるだけでなく、アルファベット順に並べたり、時系列に沿って整理したりと、「順序 (order)」を意識した片付け方を指すことが多いです。例えば、本棚の本を分類して並べたり、乱雑になった書類を整理したりする場面で使われます。他の選択肢は、'order' という単語の別の意味から連想されるかもしれませんが、この熟語の意味とは異なります。①「～を修理する」は 'repair' や 'fix'。②「～を注文する」は動詞の 'order'。④「～を命令する」も動詞の 'order' が使われます。

◆補足：前の問題の 'tidy' が、主に散らかったものを元の場所に戻す「整頓」を指すのに対し、'put in order' は、より論理的な「整理」のニュアンスが強いと言えます。例文: "She spent the afternoon putting her files in order." (彼女は午後を使って、ファイルを整理整頓した。)

42.

解答 ③

【解説】

正解は③の『throughout』です。この前置詞は、「(場所) の至る所に、隅から隅まで」や「(期間) の間中ずっと、始めから終わりまで」という意味を表します。ある範囲全体の隅々にまで及んでいる、というイメージを持つと分かりやすいです。この問題の文脈では、"throughout the world" で「世界の至る所で」、つまり「世界中で」という意味になり、彼の音楽が地域を限定せず、全世界的に愛されていることを示します。他の選択肢も重要な前置詞です。①の『among』は「(3 つ以上のものの) 間で」という意味で、多くのものの中に囲まれている状態を表します。②の『between』は「(2 つのものの) 間で」という意味です。④の『toward』は「～の方へ」という方向性を示します。これらの空間的な関係を表す前置詞は、意味を正確に区別して使えるようにしておきましょう。

◆補足：「期間」を表す用法も非常に重要です。例えば、"He was silent throughout the meeting." (彼は会議の間中ずっと黙っていた。) や "We worked on the project throughout the year." (私たちは一年を通じてそのプロジェクトに取り組みました。) のように使います。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の「飛行、便」です。『flight』は、動詞の 'fly' (飛ぶ) の名詞形で、最も基本的な意味は「飛行」です。鳥や飛行機が空中を飛ぶこと全般を指します。そして、その意味が発展して、空港で使われる「(飛行機の) 便」という意味でも非常によく使われます。例えば、"Flight JL123 to London" (ロンドン行き JL123 便) のように、便名を表す際に必ず使われる単語です。他の選択肢を見てみましょう。①の「光」は 'light'。②の「戦い」は 'fight'。③の「洪水」は 'flood' です。②の 'fight' は 'flight' とスペルがとても似ているので、混同しないように特に注意が必要です。

◆補足：空港の電光掲示板には、"Arrivals" (到着便) と "Departures" (出発便) の表示があります。その下に便名 (Flight Number) が並んでいます。海外旅行に行く際には必ず目にする単語なので、しっかり覚えておきましょう。例文: "Our flight was delayed for two hours due to bad weather." (悪天候のため、私たちの便は 2 時間遅れた。)

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の「植物、工場」です。『plant』には、名詞として二つの主要な意味があり、どちらも英検準 2 級レベルでは必須の知識となります。一つは、皆さんがよく知っている「植物」です。花や木、野菜など、地面に生える生き物全般を指します。そしてもう一つが、機械などの設備を使って製品を大規模

に生産する「工場」です。例えば、"a car plant" は「自動車工場」、"a power plant" は「発電所」を意味します。一見全く違う意味に見えますが、どちらも重要な意味なので、文脈によって判断できるようになることが大切です。①「動物」は 'animal'、③「惑星」は 'planet'（発音が似ているので注意！）、④「庭園」は 'garden' です。

◆補足：動詞として『plant』を使うと、「～を植える」という意味になります。これは「植物」の意味から連想しやすいですね。例文: "We planted some flowers in our garden last weekend."（私たちは先週末、庭に花をいくつか植えた。）"My uncle has worked at that car plant for 20 years."（私の叔父はあの自動車工場で20年間働いています。）

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の「家事」です。『housework』は、"house"（家）と "work"（仕事）が組み合わさった単語で、その名の通り「家の中の仕事」、つまり「家事」全般を指します。掃除、洗濯、料理、皿洗いなど、家庭を維持するために日常的に行われる様々な作業が含まれます。これは数えられない名詞（不可算名詞）なので、通常は複数形の 's' は付けずに使います。他の選択肢は、それぞれ異なる種類の仕事を指します。①の「宿題」は 'homework'。これも "home" と "work" から成る単語ですが、意味が全く違うので混同しないようにしましょう。②の「工場での仕事」は 'factory work'、③の「在宅勤務」は 'work from home' や 'teleworking' などと表現します。

◆補足：「家事をする」と言いたい時は、動詞の 'do' を使って "do the housework" と表現するのが最も一般的です。例文: "My brother and I have to help our mother with the housework on weekends."（私と弟は、週末に母の家事を手伝わなければなりません。）

46.

解答 ②

【解説】

正解は②の「不便、迷惑」です。『inconvenience』は、形容詞の 'convenient'（便利な）に、否定を表す接頭辞 'in-' と、名詞化する接尾辞 '-ence' が付いた単語です。その成り立ちからも分かるように、「便利ではないこと」、つまり「不便」や、それによって生じる「迷惑」を意味します。公共交通機関の遅延や、店の臨時休業など、社会生活の中で生じる様々な不都合な状況を表す際に使われる、少し丁寧でフォーマルな響きを持つ単語です。①の「快適さ」は 'comfort' や 'convenience' で、逆の意味です。③の「招待」は 'invitation'、④の「発明」は 'invention' です。

◆補足：動詞として「～に不便をかける、迷惑をかける」という意味でも使われます。例文: "We apologize for any inconvenience this may cause."（これにより生じるいかなるご不便もお詫び申し上げます。）これは、お店や公共機関などからのアナウンスで非常によく使われる決まり文句です。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③の「～したい気分だ」です。この表現は、何かをしたいという具体的な欲求や、漠然とした願望を表すときに使われる、非常に口語的で便利なフレーズです。"I want to do" よりも、もう少し柔らかく、その時の気分を強調したニュアンスがあります。例えば、「今日はピザが食べたい気分だな」という時に "I feel like eating pizza tonight." のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①「～しなければならない」は 'must' や 'have to do' で表現される義務を表します。②「～できそうな気がする」は 'feel like I can do' のように、能力に対する感覚を述べます。④「～したほうがよい」は 'should do' や 'had better do' で表現される助言や忠告です。これらは全て「～したい気分」という純粋な欲求とは異なるため、不正解となります。

◆補足：この表現は否定文で "don't feel like doing" の形で使うことも非常によくあります。これは「～する気分ではない、気が進まない」という意味になります。例文: "I'm tired, so I don't feel like going out tonight." (疲れているから、今夜は出かける気分じゃないんだ。)

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の「私の知る限りでは」です。この表現は、自分が述べることが、自分の持っている知識や情報の範囲内に基づくものであることを示す際に使われます。断定するのを避け、自分の発言に少しだけ控えめなニュアンスを加えたい時に非常に便利なフレーズです。「私が知っている範囲ではこうですが、もしかしたら違うかもしれません」という気持ちが含まれています。他の選択肢も "as ... as" を使った別の表現と関連しますが、意味は全く異なります。①「私に関する限り」は 'as far as I'm concerned'。②「私が望む限り」は 'as long as I want'。④「私ができる限り」は 'as much as I can' や 'as ... as possible' などで表現されます。

◆補足：このフレーズは、文頭や文末に置かれることが多いです。例文: "As far as I know, the museum is closed on Mondays." (私の知る限りでは、その博物館は月曜日は閉館しています。) 自分の知識に 100%の自信がない時にこの一言を添えることで、より丁寧で慎重なコミュニケーションが可能になります。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①の「～の内側に」です。前置詞または副詞として使われる『inside』は、箱や建物、部屋などの「内側」という空間的な位置関係を示します。まさに「中」というイメージですね。対義語は②の『outside』(～の外側に)です。この二つはセットで覚えるのが最も効果的です。他の選択肢も、位置を

表す基本的な前置詞です。③の「～の上に」は 'on'、④の「～の間に」は 'between' (二つのものの間) や 'among' (三つ以上のものの間) となります。これらの前置詞は、物や人の位置を正確に描写するために不可欠なので、それぞれの持つイメージをしっかり掴んでおきましょう。

◆補足：『inside』は前置詞として "inside the house" (家の中に) のように使われるほか、副詞としても使えます。例えば、"It's raining, so let's stay inside." (雨が降っているから、中にいよう。) のように使います。この場合は後ろに名詞を伴いません。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①の『scream』です。この単語は、特に「恐怖、興奮、激しい痛み」などが原因で、思わず出してしまう甲高い叫び声、つまり「悲鳴を上げる」というニュアンスで使われます。お化け屋敷で「キャー！」と叫ぶような状況に最もふさわしい単語です。他の選択肢も「声を出す」ことに関連する重要な動詞です。②の『yell』は、主に「怒り」や「警告」のために意図的に出す大声、つまり「どなる」に近い意味合いで使われます。③の『shout』も「大声で叫ぶ」ですが、こちらは「遠くの人に呼びかける」など、注意を引くために大声を出す、という状況でよく使われます。④の『whisper』は、これらとは正反対に、声を潜めて「ささやく」という意味です。これらの単語が持つ感情や意図の違いを理解することが、表現力を豊かにする鍵となります。

◆補足：『scream』は名詞として「悲鳴」という意味でも使うことができます。また、"scream with delight" (喜びのあまり叫ぶ) のように、恐怖だけでなく、極度の喜びを表す際にも使われることがあります。
